科目名	電子制御工学ゼミナール	英語科目名	Electronic Control Engineering Seminar		
開講年度・学期	平成 26 年度・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース1年		
授業形態	演習	必修 or 選択	必修		
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (30)+15) h	
担当教員	電子制御工学コース全教員	居室(もしくは所属)	電子制御工学	科棟 3, 4 階, 7	テクノ棟5階
電話	0285-20-2254(平田)他	E-mail	hirata@oyama-ct.ac.jp(平田)他		
授業の達成目標			授業達成目標との対応		
			小山高専の	学習・教育	JABEE 基
			教育方針	目標(JABEE)	準要件
1. 問題意識をもってことに当たり、自らその解決方策を調査・検討できる。			6	(E)	(d-4) f
2. 調査内容に基づいた討論・主張等を展開し、要点を整理することができる。			6	(E)	(d-4) f
3. 調査結果をまとめ、かつ、他に伝達することができる。			6	(E)	(d-4) f

各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法

上記事項をテーマに関する教材の輪講等における理解度、発表方法・要領、内容の理論的・技術的背景に関する調査 力等の視点から評価する。

評価方法

具体的な評価方法は各指導教員による。

授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間		
電気・電子・情報技術分野の主要な論文や著書、研究成果等を教材として、その論題の技術背景・歴史的背景および解決方法等について教授しかつ論議する。	各指導教員の指示による。		15 時間		
 具体的な内容は、研究室ごとに異なる					
		<u> </u>	4 = 5 + 88		
ナ ロ I		自学自習時間合計	15 時間		
キーワード 輪講, 論文 等 教科書 各指導教員により異なる。					
教科音 合指導教員により異なる。 参考書 各指導教員により異なる。					
参考者 合指導教員により異なる。 カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	輪講 I ,輪講 I I ,卒業研究	その他全科目			
現学年の関連科目	特別研究	C 10 11			
次年度以降の関連科目	特別研究				
連絡事項					

配属された研究室の指導教官の指導の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。ゼミナールの内容は特別研 究を遂行する上で基礎となるものであるから、各分野における理論的・技術的背景を理解すると共に、研究へのアプ ローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。

シラバス作成年月日 平成 26 年 3 月 28 日